

IIJ、日米回線を1.2Gbpsへ増強

2000年9月7日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)は、日米間の国際バックボーン回線を1.085Gbps(1,085Mbps)から1.235Gbps(1,235Mbps)へ増強しました。

今回の1.235Gbpsへの日米バックボーン増強は、関連会社の株式会社クロスウェイブ コミュニケーションズ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)より150Mbpsの日米回線を調達し、東京－パロアルト(PAIX)間を775Mbps(155Mbps×5)から925Mbps(155Mbps×5+150Mbps)に増速することにより実現いたしました。急激に増大するインターネット・トラフィックを支えるために、IIJでは、1994年から約6年間で、約6,400倍規模の日米間回線増強を行っています。

IIJの保有する日米間国際バックボーン回線 (2000年9月7日現在)

日本側	米国側	回線帯域
東京	San Jose(MAE-WEST)	155Mbps
	Palo Alto(PAIX)	775Mbps + 150Mbps (*)
大阪	IIJ NY NOC	155Mbps
合計		1.235Gbps (1,235Mbps)

(*)：今回増強した回線

<添付資料>

IIJ日米回線増強の歴史

			合計
1994年3月	東京 -- UUNET/SPRINT	192kbps	192kbps
7月	東京 -- UUNET	192kbps → 768kbps	768kbps
1995年3月	東京 -- UUNET	768kbps → 1.5Mbps	1.5Mbps
7月	東京 -- MAE-WEST	1.5Mbps	1.5Mbps
11月	東京 -- MAE-WEST	1.5Mbps → 4.5Mbps	4.5Mbps
1996年2月	東京 -- MAE-WEST	4.5Mbps → 45Mbps	45Mbps

